

子供の文化体験活動普及啓発事業「アート“夢”プロジェクト」

徳地の森 音楽祭×芸術祭

～アーティストと一緒に文化芸術に親しもう～

音楽祭：令和3年1月24日（土） 芸術祭：令和3年1月30日（土）

【目的】 子供の文化体験活動の普及を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、活動を自粛せざるを得ない文化芸術活動に携わるアーティスト等を招へいした文化体験活動を実施する。

【参加者】 音楽祭：11名 芸術祭：14名

【プログラムの内容】

音楽祭

13:00 受付
14:00 森の音楽祭
16:00 フィナーレ
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により
集合開催を取り止め

芸術祭

9:00 受付
9:30 モノプリント体験
12:30 昼食
13:30 ステンドグラスづくり体験
16:30 評価・鑑賞会

【音楽祭 ※集合開催中止】

出演者：afterglow
広島ダンスサークル BROTHERS
NATTY-U
YOSHIKI & Nobu.
MC ヒナオカ



出演予定者に県外在住者が含まれていたため、残念ながら本所での集合開催を取りやめにした。

参加予定のご家族には、出演者の方々のパフォーマンス映像をまとめたDVDを送付することで、普及啓発の一助とした。DVDにはヒューマンビートボックス、ロックダンス、歌などの多様な音楽ジャンルのパフォーマンス映像とともに出演者によるレッスンや家庭でもできる体験コーナーがあり、楽しみながら体験もできる内容となっている。

【芸術祭】講師：三澤 浩二氏、三澤 肖子氏

モノプリント体験



モノプリントとは、版画技法のひとつで原画に一回ずつ色を付け、次の色をのせる前には前の色を消してしまうため、出来上がりは一点物となる作品である。それぞれが考えてきた下絵にどの色を重ねるか悩んだり、出来上がりを見せ合ったりと楽しみながら取り組む様子が見られた。指や綿棒などをつかって質感の異なる着色方法にもチャレンジしながら、作品作りを進めていた。

ステンドグラスづくり体験



ステンドグラスづくりでは、カラフルなガラス片を組み合わせ、何をつくるか考える作業からスタートした。何度も作り替えながら鳥や魚、月などのモチーフを決めていった。ガラス片の接合時には、真剣な表情で丁寧に取り組む様子が見られた。大人も子どもたちも、完成した自分だけの作品を満足げに見せ合う様子が印象的であった。

【参加者の声】

「自由に重ねたり、偶然できた色がとてもきれいだったりで楽しかった」「子どもと大人が一緒になって体験し、学べる機会が芸術に関してあまりなかったので、家族で無心になって楽しむことができた」「遊び心がすぐられる時間を体験できた」などの声をいただき、参加した全ての家族から満足表4をいただいた。

【成果】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、事業実施の方法、家族間の飛沫防止対策など現状に合わせて手立てを打つことができ、参加者からも一定の評価をいただくことができた。
- ・講師、出演者との関係を気付くことができ、今後につながる芸術に関する体験活動の提供機会を持つことができた。

【課題】

- ・新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みた継続的な事業実施及びアーティストの招聘方法の模索が必要である。